

High aspirations

～ 高 い 志 ～

進路だより第3号

2020年9月2日(水)

佐賀県立武雄青陵中学校 総務部

●武雄高校とのジョイントスタディ

8月4日(火)、1、2年生は武雄高校とのジョイントスタディが行われました。

ジョイントスタディは、毎年英語と数学のグループ学習を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、武雄高校1、2年生に高校生活についての話をしてもらいました。「学校行事・校外活動」「学習」「部活動」の3つのテーマについて、中学生からの質問に、自分自身の体験を交えながら、後輩へのアドバイスを熱心してくれました。高校生活への希望が膨らみ、今後の中学校生活への意欲も高まったことと思います。あこがれの先輩に近づくよう、さっそく高校生からのアドバイスを実践してみてください。



ジョイントスタディ アンケートの結果

- ・ジョイントスタディに参加して楽しかったですか。
楽しかった・・・75% どちらかという楽しかった・・・25% あまり楽しくなかった、楽しくなかった・・・0%
- ・高校生の説明はよくわかりましたか。
よくわかった・・・83% どちらかというわかった・・・17% あまりわからなかった、わからなかった・・・0%
- ・来年度もジョイントスタディに参加したいですか。
とても参加したい・・・67% どちらかという参加したい・・・31% あまり参加したくない・・・2%
参加したくない・・・0%

感想の一部

「高校の行事は楽しそうでわくわくした。」

「積極的に自分から行動することの大切さを学んだ。」

「ノートのとり方や勉強法などを教えてもらってとても参考になった。」

「中学生のうちから毎日こつこつと計画的に学習することが大事だとわかった。今のうちにしっかり基礎を固めよう。」

アンケートの結果から、高校生の話を興味深く聞くことができていることがわかります。何事にも積極的に取り組む姿勢や、テストに向けての勉強法など、すぐに実践できそうなアドバイスが多く、しっかりメモをとりながら話を聞いていました。

●武雄高校での体験授業



8月4日(火)、3年生は武雄高校での体験授業が行われました。

生徒は武雄高校の校舎で武雄高校の説明を聞き、高校の先生による授業を受けました。「数学」は高校の内容につながる学習方法や思考力を学びました。「国語」は小論文を扱うことで論理的思考力の養い方を学びました。「英語」は「ラサール高校」の入試問題を通じて、長文読解の秘訣を学びました。それぞれの教科に共通することは、高校の内容を通じて武雄高校に進学することへの心構えと覚悟を求められていたことです。また、教室には校外活動の一覧表が貼ってありました。武雄高校は校外活動に積極的ですが、働きかけの一端が感じられました。

以下、**体験授業アンケートの結果**です。

- ・実施時間(60分×3)はどうでしたか?
短かった・・・1.6% ちょうどよかった・・・52.5% 長かった・・・45.9%
- ・国語の理解度はどうでしたか?
よくわかった・・・30.3% だいたい分かった・・・64.3% あまり分からなかった・・・5.4% まったくわからなかった・・・0%
- ・英語の理解度はどうでしたか?
よくわかった・・・35.7% だいたい分かった・・・46.5% あまり分からなかった・・・16% まったくわからなかった・・・1.8%
- ・数学の理解度はどうでしたか?
よくわかった・・・48.6% だいたい分かった・・・31.3% あまり分からなかった・・・14.3% まったくわからなかった・・・0%

感想の一部

「授業のスピードが早く、ノートの取り方に工夫が必要と感じた。」

「今までの学習では通用しないと思った。その点を意識して、もっと勉強したい。」

「退屈な時間がなく、どんどん進むので楽しかった。」

「高校は答えだけでなく、筋道を立てて考えることが大事とわかった。」

アンケート結果からは時間は長く感じられたが、高校の授業を知ることができて、今後の学習意欲の向上につながったようです。ただ、高校の授業になれず、不安に感じている感想も見られました。高校入学まで時間があります。生徒のみなさんの高校生活が充実するためにも残りの中学生活、次につながる目標を持って頑張ってくれたらと思います。

●大学紹介

高校進学後、大学を視野に入れている生徒が多いと思います。そこで実際に進学した卒業生の話を生徒のみなさんにわかりやすくインタビュー形式で紹介したいと思います。

○九州大学 共創学部

Q) 共創学部について教えてください

A) 共創学部は将来の課題解決に向けて、あらゆるスペシャリストと連携しながら解決する人材を育成する目的で設立されました。そのため、自分の学びたい社会課題や自分の将来像に合わせて自由に学問を学べる学部です。同級生には理系だったのに本屋で見た本で哲学に目覚めた人やアプリの開発をしている人など、個性的な人が多くいて、毎日、刺激を受けています。そのため、考えもしなかった学問に関心が持ったりすることがあり、毎日、発見の日々です。

また、英語はハードです。英語だけの授業があり、そこではディスカッションやディベート、エッセイライティングなど英語を話したり、書いたりすることが多くて、かなり苦しい思いをしましたが、おかげで英語力が格段に上達しました。また、国際社会が抱える課題の解決方法を考える授業やデータについて学ぶ授業、フィールドを調査する授業などがあります。

Q) 部活動は何をしていますか。

A) 水球部に所属しています。私自身、水球部に入部するとは考えてもいませんでした。大学の部活動は活動場所の利用費などでお金がかかり、月に1万円、かかる部活動もあります。水球部は月に1000円でしたので金銭的に助かりました。また、監督やコーチがいないので自分たちでレベルの合わせた練習ができ、部員同士の雰囲気も良かった点が入部のきっかけでした。大学では色々な部活動がありますが、自分でしっかりと決めないと誰も代わりはしてくれません。後悔するのは自分です。私は実際に行動して水球部に所属して満足したキャンパスライフを送っています。

Q) 最後に一言。

A) 4年間の時間を使う大学生活、納得のいく進路選択をしてくれたらと思います。